

東広島いろは会

おお たに ただ ゆき

大谷 忠幸

VOL.2



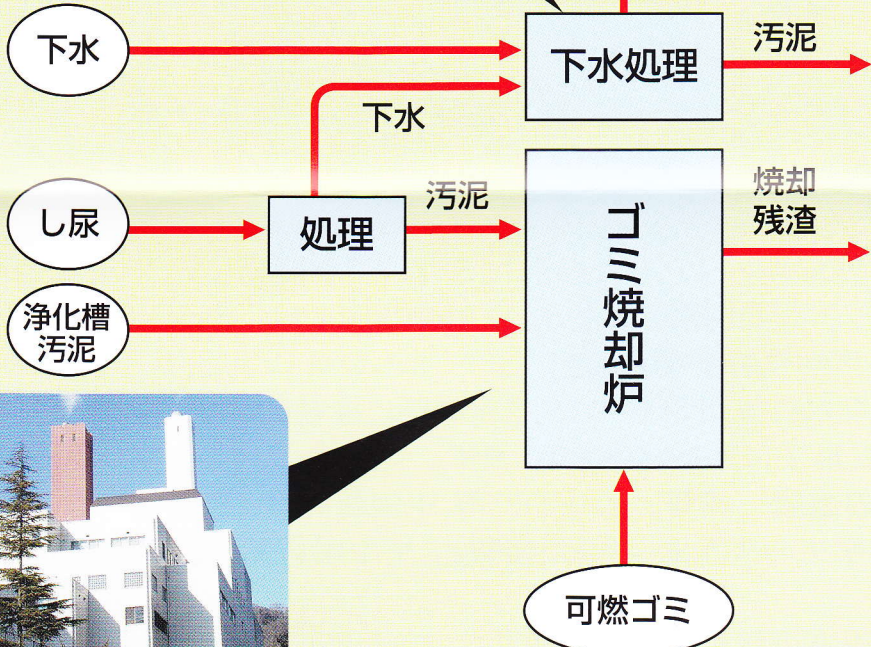
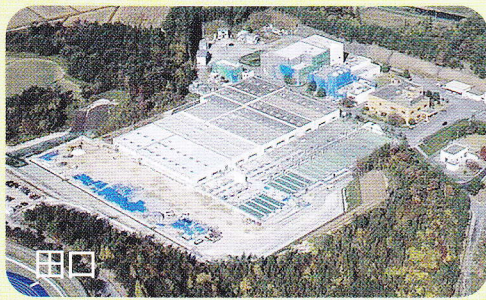
東広島市議会議員となり、『東広島いろは会』を結成して約8ヶ月が経過しました。平成24年1月7日現在、選挙公約の、①議員報酬2割カット、②議員定数4割カット、については、昨年設置された『議員改革・活性化特別委員会』において私も委員になり議論しています。その結果が出るまで、私は自発的に議員報酬の2割を宮城県に継続的に寄付しています。その他の公約につきましては、以下に進捗状況を示します。

- 1. 教育課題の重点化とその進展** 読解力養成のため、中国新聞社と東広島市役所の間で協定が結ばれ、小中学生の授業で、生きた情報として中国新聞の紙面を2次使用することが可能になった。
- 2. 駅前商店街の活性化** 西高屋駅前商店街を活性化するために、新しい血を導入することを検討した。すなわち、牛井屋直営店のオープンである。検討の結果、残念ながら、単位時間当たりの通行人数が足りず、直営店の出店を拒否された。さらにファーストフードの導入を検討していく。
- 3. 米作り振興** 平成22年に耕作可能とした水田4反に、平成23年には田植え、稲刈り等を実施し、『あきろまん』と『ヒノヒカリ』を収穫した。『ヒノヒカリ』150kgを手元に残し、後はJAに引き取ってもらい、収支はプラスマイナス0円であった。
- 4. 酒造り振興** 街興しのため、酒都西条の純米酒16種を東京都杉並区に持ち込んで試飲即売会を実施した(10月29日、30日)。『淡麗辛口』が持てはやされる東京でも、軟水を用いて醸造された芳醇な西条酒が立派に通用することを確認できた。
- 5. 認知症対策** 『認知症予防』を目的とした講演会を実施した(8月6日)。講師は産業医科大学の魚住武則先生を招聘した。今度は認知症であることを早期に認定するための『オレンジドクター』の存在の周知徹底を中心に、地域活動を行っていく。
- 6. スポーツ振興** 企画中。

今後これらについて継続的に具現化してまいります。

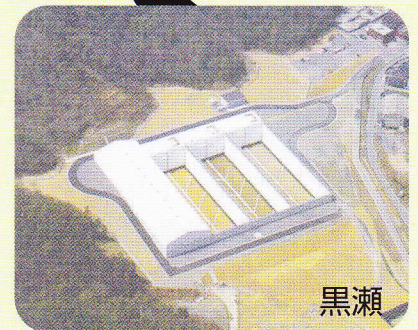
これらとは別に、持ち前の好奇心を生かし様々な問題意識を持ち、東広島市のライフライン(ゴミ処理、下水、上水等々)と公共工事の入札についても調査研究するとともに、その結果を蔵田市長をはじめ関係部署に提案しております。

大谷忠幸の連絡先：〒739-2125 東広島市高屋町中島448-8
TEL./FAX. 082-434-0687 携帯 080-6344-0197
E-mail otani_tyurin@yahoo.co.jp



現状のゴミ、し尿処理システム

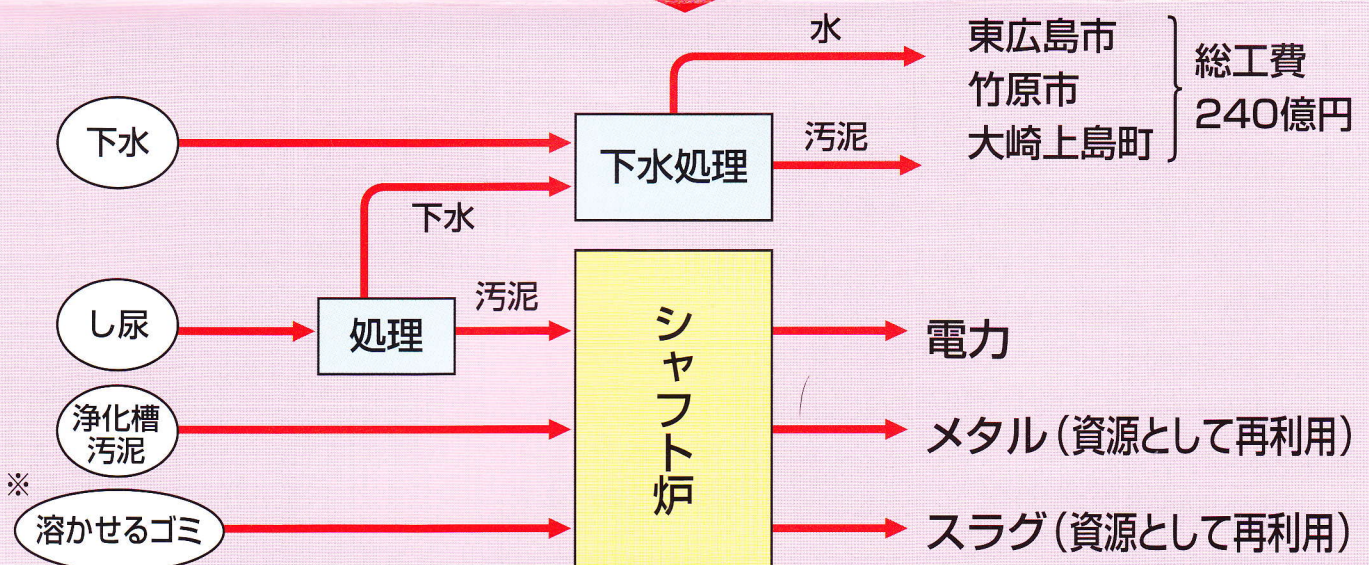
このままだと9年後には黒瀬の最終処分場が満杯になり現状のゴミ、し尿処理システムが機能しなくなります。



黒瀬



9年以内に!



将来のゴミ、し尿処理システム

東広島市
竹原市
大崎上島町 } 総工費 240億円